

鈴木宗男衆議院議員の辞職を求める決議

上記の議案を提出する。

平成14年 3 月 28 日

提出者

19番 本間 まさよ

1番 松本 清治

12番 山本 ひとみ

17番 たき 美世子

21番 露木 正司

武蔵野市議会議長 井口良美 殿

鈴木宗男衆議院議員の辞職を求める決議

国後島緊急避難所兼宿泊施設「友好の家」（いわゆる「ムネオハウス」）をめぐる問題など、鈴木宗男前衆議院運営委員長の疑惑は、3月11日に行われた鈴木宗男議員証人喚問によって一層深まった。鈴木議員の疑惑は内閣官房副長官、北海道・沖縄開発庁長官時代を通じて、「友好の家」のみならず、複数の北方四島支援事業や北海道米軍実弾演習物資調達など受注業者選定への介入と受注業者からの献金受け取り、ケニアへのODAをめぐる疑惑、外国人私設秘書の問題、北方領土返還政策をねじまげた問題など数限りなく、しかもこれらの問題は、外務省にとどまらず省庁を横断する様相をおびている。

これらは国民の政治不信を大きく増大させるとともに、諸外国にわが国の外交政策への大きな疑念を抱かせ、国際的信頼を著しく失わせた。国会は、鈴木議員のいっさいの疑惑を徹底して解明すべきである。

証人喚問を通して鈴木議員の異常な姿が浮き彫りになり、国民を代表する政治家としての資格が無いことは明らかである。

よって、武蔵野市議会は鈴木宗男議員に、すみやかに議員を辞職するよう求めるものである。

以上決議する。

平成14年3月28日

武蔵野市議会